

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

8706

小型家電等リサイクル事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	清掃費		
	目	塵芥処理事業費		
	大事業	塵芥処理事業		
	中事業	小型家電等リサイクル事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	収集センター	松井 辰也
事業実施の根拠法令	使用済小型電子機器等の再資源化の促進		関連課	471-1503		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	小型家電のリサイクルを推進する。		ごみの減量と循環型社会の形成を目指すためのリサイクル事業			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		家庭から排出される小型家電(268品目)を各地区、年2回指定した場所で回収し、青岸ストックヤードへ搬入する。	家庭から排出される小型家電(268品目)を各地区、年2回指定した場所で回収し、回収品を分別し、リサイクル業者に有料で引き渡す。	家庭から排出される小型家電(268品目)を各地区、年2回指定した場所で回収し、青岸ストックヤードへ搬入する。	家庭から排出される小型家電(268品目)を各地区、年2回指定した場所で回収し、青岸ストックヤードへ搬入する。	家庭から排出される小型家電(268品目)を各地区、年2回指定した場所で回収し、青岸ストックヤードへ搬入する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,586	1,956	1,823	1,729	1,860	1,849	1,882	0	1,882	0
伸び率(%)	△28.4%	9.4%	14.9%	△11.6%	2%	6.9%	1.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	31,492	32,216	31,132	30,734	29,943	29,943	29,943	0	29,943
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	31,492	32,216	31,132	30,734	29,943	29,943	29,943	0	29,943
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,586	1,956	1,823	1,729	1,860	1,849	1,882	0	1,882	0
所要人数(人)	正規職員	3.91	4.00	3.91	3.86	3.86	3.86	3.86	0.00	3.86
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	自動車用燃料849千円、自動車修繕663千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	小型家電延べ回収地区数	地区	目標値	322	322	322	322	322
			実績値	322	322	322		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標	小型家電回収量(平成30年度から地区回収分のみ)	kg	目標値	300000	300000	300000	300000	300000
			実績値	319000	362000	315000		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	粗大ごみとして申し込む以外に事務所へ持ち込みも可能であり、持ち込みできない方のために各地区、年間2回の回収を実施し、市民サービスの向上に努めています。
見直し・改善内容	各地区の回収数を増やすことによりサービスの向上と回収量の増加に繋がるが、人員や機材の問題もあり現状として困難である。